

ONKYO®



2.4GHz DIGITAL WIRELESS HEADPHONE

MHP-UW1

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読み
いただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所
に裏表紙に記載の保証書、オンキヨーご相談
窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管
してください。

主な特長/付属品 2

オーディオ機器の正しい使いかた 3

必要なシステム構成/
各部の名前と主な働き 8

はじめに 9

ヘッドホンを使う 10

困ったときは 12

主な仕様 15

修理について/
お客様ご相談窓口 17

保証書 裏表紙

主な特長

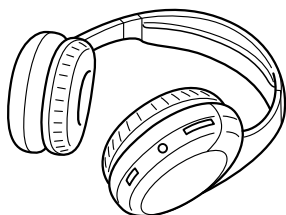
- 2.4GHzの電波を使用したワイヤレスヘッドホン
- パソコンのUSBポートに付属のトランスミッターを差し込むだけの簡単スタート
- 直線距離約10mの到達性能
(ご使用の環境によって異なります)
- 専用ニッケル水素電池&USB充電器付属
- 市販の単3形乾電池にも対応
(電池の種類によって連続使用可能時間が異なります)
- 肌あたりのやさしいポリウレタン製イヤークッション採用
- USB1.1準拠 (USB2.0ポートにも接続可能)
- USBポートから簡単に給電ができる専用充電器

付属品

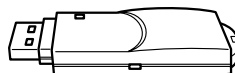
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。

() 内の数字は数量を表しています。

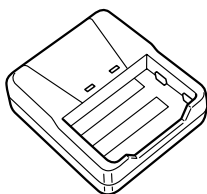
- ヘッドホン本体 (1)



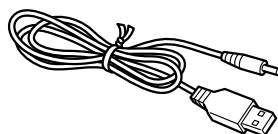
- USB送信部 (トランスミッター)(1)



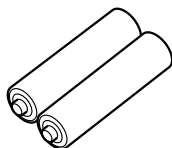
- 充電器 (1)



- 充電器専用USBケーブル (1)



- 専用ニッケル水素電池 (2)



- 取扱説明書 (保証書付)(本書1)
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 (1)

* 充電してからご使用ください。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない



- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となりますので、使用しないでください。

■ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない



- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となりますので、使用しないでください。

■ 本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する



- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 故障したままの使用はしない



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに使用を中止し、USBプラグをPC本体から抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に改造しない



分解禁止

- 内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない



水場での
使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ
禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 中に水が入ったら



- 万一、本機の内部に水が入った場合は、すぐに本機のUSBプラグをPC本体から抜いて販売店にご連絡ください。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



- 万一、誤って本機を落とした場合や、破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBプラグをPC本体から抜き、必ず販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、本機には触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない



- 市販の乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意



- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大電流で本機が破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 接続について



- USBプラグを抜くときは、USBケーブルを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

■ 電池について



- 本機に電池を入れる場合、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

⚠注意

■ 充電式電池について



- 付属の充電式電池は他の機器に使用しないでください。この電池は本機専用です。
- 専用の充電器以外で充電しないでください。
- 金属類と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。ショートの原因となります。
- 外装のチューブを剥がしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池が液漏れや変色・変形したときは使わないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 充電式電池は分解しないでください。

■ 点検について



- お手入れの際は、安全のためUSBプラグをパソコンから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。



- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

■ かゆみ・違和感を感じたら使用しない



- 使用中にかゆみ・違和感を感じたときは、すぐに使用を中止して医師にご相談ください。

ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池のリサイクルについて



Ni-MH

ニッケル水素電池は、貴重な資源を使用しています。
ご不要になった充電式電池は破棄せず、端子にセロハンテープなどを貼り、
絶縁してから充電式電池リサイクル協力店へお渡しください。
充電式電池のリサイクルについては、社団法人電池工業会ホームページをご
覧ください。

<http://www.baj.or.jp/>

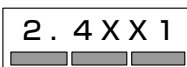
ニッケル水素電池のご注意：

電池から漏れた液が目に入ったときは、失明の原因となることがありますので、こすらずにきれいな水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。
また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと



2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
XX：変調方式を表します。
1：干渉距離は10mです。

- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
 - 2.4GHz用周波数帯域を利用する、無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

本機を使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。

他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかにご使用の周波数を変更するか、使用を停止してください。混信回避のための処置等については、カスタマーセンター（本書18ページに記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、カスタマーセンター（本書18ページに記載）へお問い合わせください。

必要なシステム構成

- **対応機種** USB規格Rev.1.1準拠のUSBポートを標準装備したパソコン/AT互換機(USB2.0接続可)
Intel製USBホストコントローラー推奨
- **対応OS** Windows®2000 Professional 日本語版SP3以降/XP 日本語版SP1以降
- **CPU** Intel® Celeron® 800MHz以上
(Intel® Pentium® III 800MHz以上推奨)
- **メモリ** 128MB以上

最新OSに関する情報は、オンキヨーホームページをご覧ください。

Windowsについて

Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

- WAVIO (ウェビオ) の名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operating Systemです。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

各部の名前と主な働き

■ ワイヤレスヘッドホン

電池ホルダー

付属の充電式電池または市販の乾電池を入れます。

ヘッドバンド調節部

ヘッドバンドの長さを調節します。

左耳側

Lの表示があります。

イヤークッション

ボリューム
VOLコントロール
音量を調節します。

パワー
POWERインジケーター
電源がONのときに点灯します。

オン オフ
電源ON/OFFスイッチ
電源をON/OFFします。

右耳側

Rの表示があります。

■ USBトランスミッター

保護キャップ

送信インジケーター

電波を送信するときに点滅します。

USBコネクター

パソコンのUSBポートと接続します。

周波数切換ボタン

雑音を軽減させるために周波数を8段階に切り換えます。

■ 充電器

充電式電池挿入部

付属のニッケル水素電池をセットします。ニッケル水素電池以外の充電式電池は充電しないでください。

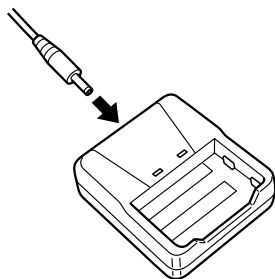
はじめに

付属のニッケル水素電池を充電する

1. パソコンの電源を入れる

- パソコンが起動していることを確認してください。
- ノートパソコンの場合は、電源プラグをコンセントに接続して、起動してください。

2. 付属の充電器に充電器専用USBケーブルを接続する



3. 充電器の極性表示にしたがって、付属のニッケル水素電池を入れる



4. パソコンのUSBポートに接続する

充電器のインジケータが赤く点灯して、充電が始まります。

- 赤色のインジケータが消灯して、緑色のインジケータが点灯したら充電は完了です。

ご注意

- 乾電池を入れても充電されません。
- 付属の充電式電池を他の機器に使用しないでください。
- 電池の向きは表示どおりに入れてください。
- 充電器には、付属の充電器専用USBケーブル以外を接続しないでください。
- 充電は0℃～40℃の環境で行ってください。
- 充電中は充電器や電池があたたかくなりますが、異常ではありません。

■ 充電時間と使用可能時間

ニッケル水素電池（1800mAh）の場合：

- 充電されていない状態から充電が終わるまでの時間：約4時間
- 充電が完了しているときの持続時間：約6時間
- 1時間充電したときの持続時間：約1.5時間

■ 市販の乾電池を使う場合

本機は市販の単3形乾電池（2個）にも対応しています。ただし、乾電池の場合は充電できませんので、ご注意ください。

- 乾電池の持続時間
市販のアルカリ乾電池：約8時間

*使用環境の温度や状態によって、持続時間が変化します。

■ 充電式電池取り換え時期のめやす

十分に充電しても使用できる時間が著しく低下したときが取り換え時期です。

市販の充電式電池または乾電池とお取り換えください。乾電池は充電できませんのでご注意ください。本機に付属の充電器はニッケル水素電池専用ですので、その他の充電式電池は充電しないでください。

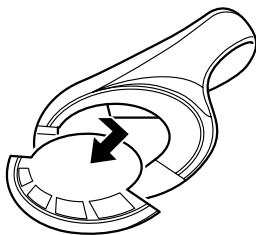
■ USBハブを使うとき

USBハブに充電器を接続するときは、必ずUSBハブにACアダプターを接続してください。

ヘッドホンを使う

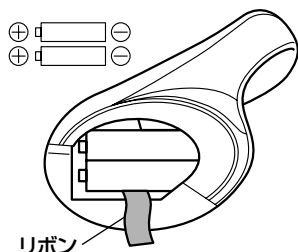
電池の入れかた

1. ヘッドホンの電池ホルダーを上から軽く押してスライドさせ、カバーを開ける

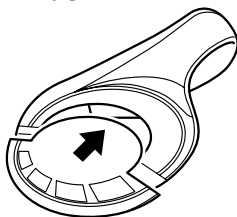


2. 充電した付属の充電式電池を極性の表示にしたがって入れる

黄色のリボンは電池の下に敷いてください。



3. カバーを閉める



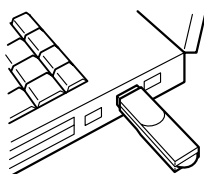
！ヒント

電池は、黄色のリボンを引っ張ると簡単に取り出すことができます。ただし、強くリボンを引っ張ると電池が飛び出しますので、ご注意ください。

ヘッドホンを使う

1. パソコンの電源を入れる

2. USBトランスミッターのキャップをとり、パソコンのUSBポートに接続する



USBポートには正しい方向で接続してください。
自動で認識され、USBトランスミッターの送信インジケーターが青く点灯します。

はじめて接続するときは、認識に約30秒ほどかかります。

3. ヘッドホンの電源を入れる



電源^{オン}ON/OFFス^{オフ}イッチを「ON」にします。

- POWERインジケーターが点灯します。



ご注意

突然大きな音が出て聴力障害などを引き起こさないよう、VOLコントロールは最小にしておいてください。

4. パソコンで好きな音楽を再生する

ヘッドホンのVOLコントロールを調節してください。

- 電波を送信中は、USBトランスミッターの送信インジケーターが点滅します。

5. 使い終わったら、ヘッドホンの電源ON/OFFスイッチを「OFF」にもどす

パソコンの電源を切る前に、USBトランスミッターをパソコンから抜いてください。

ヘッドホンを使う

！ヒント

- USBトランスミッターはパソコンの電源ON/OFFに関係なく抜き差しすることができます。
- パソコンにUSBポートが2つ以上あるときは、どのポートに接続してもかまいません。ただし、パソコンによっては次に別のUSBポートに接続したときに、再度認識が始まる場合があります。
- 音楽を再生してからUSBトランスミッターを接続しても正しく聞くことができません。必ずUSBトランスミッターを接続してから音楽を再生してください。

ご注意

- USBの延長ケーブルなどを使用するときや、デスクトップパソコンの背面にあるUSBポートと接続するときは、音途切れなどの状況が悪くなる場合があります。
- USBハブにUSBトランスミッターを接続するときは、必ずUSBハブにACアダプターを接続してください。

もしも認識されない場合は…

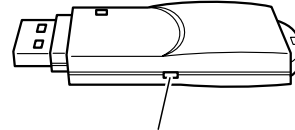
USBケーブルを抜き、15秒ほど待って再度USBケーブルを接続してください。それでも認識が始まらない場合は、次の操作をしてください。

- ①「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- ②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。(Windows XPのみ)
- ③ コントロールパネルの「システム」をクリックします。
- ④ 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
- ⑤ 「ハードウェアの追加ウィザード」ボタンをクリックします。

以上の手順でインストールが始まりますので、画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

雑音や音途切れがあるときは…

ヘッドホン使用中に雑音が入ったり音が途切れるときは、使用したままヘッドホンとトランスミッターを近付け、トランスミッターの周波数切換えボタンをくり返し押してください。本機は8段階(2.4GHz～2.4835GHz)に周波数を切り換えることができ、これにより改善される場合があります。



周波数切換ボタン

困ったときは

下記の内容を点検してみてください。接続したパソコンに原因がある場合もありますので、パソコンの取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

音が出ない/小さい

- 初めてお使いになるときは、ご使用前に付属の充電式電池を充電してください。
- 電池の極性(⊕/⊖)が表示どおり正しく入っているか確認してください。
- ヘッドホンの電源ON/OFFスイッチが、「ON」側になっているか確認してください。
- ヘッドホンのVOLコントロールやパソコンのボリュームが最小になっていないか確認してください。
- USBトランスミッターが正しく接続されているか確認してください。
- USBトランスミッターの送信インジケータが点滅しているか確認してください。点灯している場合、一度ご使用のアプリケーションソフトを終了させ、再度立ち上げてください。
- ドライバやオーディオデバイスの設定が正しく行われていない可能性があります。13、14ページで確認してください。

雑音が多い

- 周波数切換ボタンをくり返し押してみてください。
- 近くにラジオ、BS/CSアンテナなどがある場合、混信することがあります。
- 無線LAN、電子レンジ等、2.4GHzの周波数帯域を使用する機器の近くでは音が途切れることがあります。その場合、USBトランスミッターとヘッドホンの距離が2m以内になるようにしてください。
- USBトランスミッターとヘッドホンの間に障害物があると、音が途切れることがあります。

充電できない

- 電池の極性(⊕/⊖)が表示どおり正しく入っているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。

■ ドライバのインストールを確認する

1. システムのプロパティからデバイスマネージャを開く <Windows XPの場合>

- ①「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- ②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- ③コントロールパネルの「システム」をクリックします。
- ④「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
- ⑤「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

<Windows 2000の場合>

- ①「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
- ②「ハードウェア」タブを選択します。
- ③「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

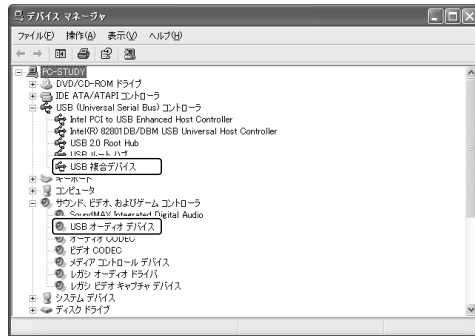
2. 以下のデバイス名があることを確認する

「USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ」の「+」をクリックします。

● USB複合デバイス

「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の「+」をクリックします。

● USBオーディオデバイス（USB Audio Device）



*画面は、パソコンの設定や状況によって順番等が異なる場合があります。

ご注意

お使いのパソコンの仕様やオペレーティングシステムによっては、実際に表示されるデバイスリストが上記の画面と多少異なります。

「USBコントローラ」の下に「不明なデバイス」と表示されている場合は、本機からUSBケーブルを外し、もう一度接続し直してチェックしてください。それでも認識されない場合は、リストから「不明なデバイス」を削除し、USBケーブルを取り外し、もう一度接続します。それでも認識されない場合は、パソコンが不安定になっている場合がありますので、パソコンを再起動し、USBケーブルを接続し直してから「不明なデバイス」をリストから削除します。それでもまだ動作しない場合は、パソコン側に問題がある可能性がありますので、パソコンの販売店にご相談ください。

困ったときは

■ オーディオデバイスを確認する

1. オーディオデバイスを確認するパネルを開く

<Windows XPの場合>

- ①「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- ②「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
- ③コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックして、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウを開きます。

<Windows 2000の場合>

- ①「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開きます。

2. 「オーディオ」タブを選択する

3. 「音の再生」の「既定のデバイス」が「USB Audio」になっていることを確認する

異なる場合は、変更する

OSによって、「音の再生」は「再生」、「既定のデバイス」は「優先するデバイス」、「USB Audio」は「USBオーディオデバイス」となっています。

4. 「OK」ボタンを押す



確認したら、「OK」を押して閉じる



USBトランスミッターを接続してすぐに「オーディオ」ウィンドウを開くと、既定のデバイスが「USB Audio」にならないことがあります。接続後はしばらく時間をおいてからウィンドウを開き、確認してください。USBトランスミッターを接続し直すときは、「オーディオ」ウィンドウを閉じてから行ってください。

主な仕様

■ ワイヤレスヘッドホン

形式：ダイナミック型

ドライバーユニット：口径30mm

定格出力：2.8mW rms

出力レベル：0.735Vpp (Max時)

周波数特性：20～20,000Hz、－3dB

ダイナミックレンジ：92dB

SN比：87dB

電源：付属のニッケル水素電池×2または
市販の単3形乾電池×2

電池持続時間：約6時間

[1800mAhニッケル水素電池フル充電時]

外形寸法：150(幅)×175(高さ)×55(奥行)mm

質量：177g (付属のニッケル水素電池含む)

■ USBトランスミッター

USB1.1準拠

使用帯域：ISMバンド2.4GHz～2.4835GHz

選択チャンネル数：8ch(2.4GHz～2.4835GHz)

外形寸法：77(幅)×12(高さ)×22(奥行)mm

質量：13g (USB部キャップ含む)

※仕様および外観は性能向上のため、予告なく変更することがあります。

イヤークッションを交換する

本機のイヤークッションは消耗品ですので、長期間使用すると汚れたり、破損することがあります。「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口へお問い合わせの上、イヤークッションをお取り寄せください。

イヤークッションは、以下のように取り付けてください。

1. 右耳側 (Rの表示) のイヤークッションを左回りにひねる

「カチッ」という音がしたら、イヤークッションが外れます。

2. 新しいイヤークッションを取り付ける

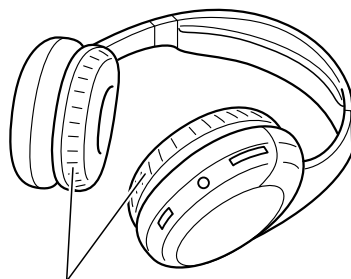
新しいイヤークッション (右耳用) のRの表示が上になるように、ヘッドホンの右耳用(Rの表示) にはめ、右回りにひねります。

3. 左耳側 (Lの表示) のイヤークッションを右回りにひねる

「カチッ」という音がしたら、イヤークッションが外れます。

4. 新しいイヤークッションを取り付ける

新しいイヤークッション (左耳用) のLの表示が上になるように、ヘッドホンの左耳用 (Lの表示) にはめ、左回りにひねります。



イヤークッション



イヤークッションをはずした際は、故障の原因となりますので、ドライバーユニットには触らないでください。

メモ

修理について

■ 保証書

保証書は、本取扱説明書に付属しています。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障とされています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、USBプラグを抜いて修理を依頼してください。修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 MHP-UW1
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
(全国どこからでも市内料金で通話いただけます)
または072-831-8111(携帯電話、PHSから)

サポート時間：月～金曜日
(土、日祝、弊社休日を除く)
9:30～17:30

FAXでのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒572-8540
大阪府寝屋川市日新町2番1号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

メールフォームによるお問い合わせ：
<http://www.jp.onkyo.com/> から
オンキヨーホームページを開く

▶ サービス・サポートをクリック

「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の
「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」
をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：

ホームページアドレス
<http://www.jp.onkyo.com/>
<http://www.jp.onkyo.com/wavio/>
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： _____ 年 月 日

ご購入店名： _____

Tel. () _____

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540



製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター

ナビダイヤル ☎0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）

または ☎072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0412-4

SN 29343924C

(C) Copyright 2004 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.



* 2 9 3 4 3 9 2 4 C *



ONKYO 音響映像機器保証書

持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキョーサービスステーションに修理をご依頼ください。

品番	MHP-UW1	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前 様	保証期間 (お買い上げ日より)	本体 1 年
	ご住所 〒	取扱販売店名・住所・電話番号	
	電話番号 ()		

●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキョー株式会社 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2番1号

お問い合わせ先 ●東京サービスセンター 03(3861)8121 ●大阪サービスセンター 072(831)8080

＜無料修理規程＞

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保障するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキョーサービスステーションが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキョーサービスステーションにご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
- ご購入、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、「オンキョーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)、水掛かり等による故障および損傷
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷

- 消耗品(各部ゴム、電池、レコード針、キャリングケース、イヤークッション等)の交換
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
- 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書17ページをご覧ください。